

岩手郡医報

昭和59年7月 No.17

編集/発行

岩手郡医師会



水芭蕉の群落

八幡平も今年は、例年以上の大雪に見舞われ、アスピーテラインの除雪には数日を要したという。5月も半ばを過ぎたというのに、今なお残雪のあるここ松尾村松川温泉へ通ずる道端には、多数の湿地帯があり、そのいくつかには『水芭蕉』の群落が見られる。

雪の多かった今シーズンは、周囲の黒ずんだ残雪とはまた別に、巾広い大きな葉とともに大き

な白い花弁をもつ「水芭蕉」は何とも可憐な花ではないでしょうか。

西根町より約20kmの松川温泉への道すがら、一寸一服の清涼剤ともいえるでしょう。またこの「水芭蕉」は竜ヶ森レックゴルフ場内にも多数みられ、春を告げる花として県外客からは仲々見られないものと大変喜ばれているという。

(嶋)

行事関係報告

1 日医関係

(イ) 2月 8日

老人保健法に定める医療以外の保健事業に従事することにより支払いを受ける報酬に対する課税の取扱いについて

(ロ) 2月 4日

2月 8日

3月 5日

3月 28日

3月 31日

4月 6日

4月 10日

4月 20日

5月 7日

5月 12日

5月 26日

6月 7日

(ハ) 2月 25日

3月 19日

5月 22日

6月 9日

(二) 6月 7日

医師年金制度普及及び推進運動について

2 県医関係

(イ) 2月 8日

全理事会及び医政連執行委員会について

(ロ) 2月 16日

第96回岩手県医師会臨時代議員会開催について

(ハ) 3月 8日

岩手県医師会各種委員会委員の推薦方にについて

(二) 3月 9日

麻薬盗難防止について

(ホ) 3月 29日

県民健康講座の費用送付さる。

(ヘ) 3月 27日

昭和59年度岩手県医師会名簿の原稿提出について

(ト) 岩手県医師会代議員会に於て昭和59年4月1日よりの役員下記の通り決定せらる。

記

岩手県医師会長 三浦 新也

" 副会長 加藤 十郎

" " 佐藤 進

理事 21名

監事 3名

岩手県医師会代議會議長

滝田 昌之

" 副議長

大平 新治

日本医師会代議員 滝田 昌之

加藤 十郎

田島 達郎

(チ) 4月 3日

昭和59年度岩手県医師会費賦課について

(リ) 4月 4日

全理事会並びに郡市会長会同開催さる

(ヌ) 4月 5日

テレビ番組「健康で長生きするために」のポスター配布さる

(ル) 4月 11日

昭和59年度県医及び日医の会費の徴集方について

(ヲ) 4月 11日

日医及び県医の会費の免除及び減額について

- (ワ) 4月14日 県医総会時の表彰会員の内申について
- (カ) 4月14日 保険部より文書による指導の説明あり
- (ヨ) 4月17日 昭和59年度社会貢献表彰者のすいせん依頼について
- (タ) 4月17日 県医役員の業務分担について
- (レ) 4月17日 労災保険に於ける療養補償給付に係る診療報酬について
- (ソ) 4月19日 いわて医報慶弔記事の登録制について
- (ツ) 岩手県保険医療表彰の候補者調査について
- (メ) 5月22日 第1回学校医部会幹事会について
- (ナ) 5月25日 保険問題協議会開催について
- (ラ) 5月31日 昭和59年度岩手県臨床検査精度管理調査について
- (ム) 6月4日 岩手県医師会各種委員会及び部会幹事の依嘱について
- (ウ) 6月15日 郡市医師会地域医療担当理事連絡協議会開催について
- (ヰ) 6月18日 第14回海釣大会について

3 保健所関係

- (イ) 2月6日 麻薬及び鎮痛注射薬の盗難防止について

4 預防医学協会

毎月各月の検診日程表の送付あり

- 5 岩手県各部**
- (イ) 福祉部
 (I) 2月16日 社会保険医療担当者の個別指導について
 (II) 2月18日 生活保護法第50条第2項の規定に基く指定医療機関の個別指導について
 (III) 3月2日 使用薬剤の購入価格について
- (ロ) 環境保健部
 (I) 3月6日 麻薬の盗難防止について
 (II) 4月5日 特例許可外老人病院の把握に係る老人収容比率の届出について
- 6 他都市医師会関係**
- (イ) 3月28日 東磐井郡医師会より新役員の連絡あり
- (ロ) 4月10日 紫波郡医師会より本年度県医総会並びに本年度（春季）医学会総会の通知あり
- (ハ) 5月8日 紫波郡医師会より同上第二報あり
- (ニ) 5月10日 宮古市医師会より本年度親睦野球大会の通知あり
- 7 郡医師会関係**
- (イ) 1月24日 玉山村「ふるさと」に於て役員会を開催
 1月29日開催の総会提出議題に付協議をする
- (ロ) 1月29日 岩手県医師会館に於て総会を開催する
 出席会員 31名
 委任状 29名
 計 60名

会員 64名 会議成立す

1. 会長挨拶
2. 代議員、各委員の報告

3. 議事事項

I 昭和59年度事業計画

次の如し

昭和59年度事業計画(案)

岩手郡医師会

昭和58年度は我が岩手郡医師会にとりまして誠に意義ある年でありました。御承知のように長年の念願でありました第35回岩手県医師会総会並第70回岩手医学会(春季)総会の開催を担当し、無事終了することができました。岩手県医師会の組織の中の一員としての資格を獲得できたと思われます。ここに至るまで役員方の御苦労、また、西根町当局の絶大なる御援助並当医師会第二支部会員各位の御奉仕にあらためて感謝の意を表わす次第であります。今後共医師会活動に当たりましては、この総会並びに医学会の担当に当られた気概を持続せられ、会内つまり組織の一員としての信念に燃えられまして楽しい医療生活を続けられんことを御祈りして止みません。又、三年続きの私共東北地方を襲った冷害も本年は概ね平年作となり、安堵の胸をなでおろしたの感があります。何んと申しましても農村地帯の最大の敵は天候です。これには如何なる権力も財力も勝てません。只農村地帯が漸く平静になられましたが、まだまだ不安定なのが医療をとり巻く環境です。いつになったら医療をとり巻く環境が平静になるか期待できません。恐らくは未来永劫に不可能ではないでしょうか。私共と最も関係ある中央社会保険医療協議会の公益代表並びに組合健保出身の委員曰く

“医療費が安くて医療機関が倒産するのは経営努力が足りないからとのこと” 全くの暴言です。自分の株式経営は儲けるためには刑法に触れな

ければ何をしてもよいのです。私共の医療はそうはいきません。医師法、医療法、保険法という法律にかんじがらめにされています。この事実を中央医療協の公益代表の委員は知らないとは、選んだ政府の認識不足か、何も知らないで選ばれて大きな顔をしている本人の無知かの何れかです。只、このような公益代表委員の考え方方が私共の周辺にもせまって居ます。このような状態では医療の社会は平静になり得ることはありません。只、私共医療を担当するものはこのような社会状態にあっても、弱い患者さんのためには社会の矛盾を乗り越えて医療の本分を発揮せねばなりません。

私共の本分を放棄したら社会はどうなるかと云うこと先ず最初に考えましょう。その医師の本分を全うして昭和59年度は下記の点に留意して医師会活動を致し度会員各位の御理解をお願い致します。

記

1. 県医師会の行事計画に協力推進する。
2. 会員が卒先諸行事に参加する。
(諸行事不参加は社会人としての自己研鑽を怠ることになる)
3. 医学研修会の開催
4. 各支部間、各市町村間の融和を図る。
5. 会員の厚生を図る。
6. 県民健康講座の開催の準備
7. 勤務医の喜んで参加する行事の検討

以上の外、新役員会で新たに計画される諸行事

II 昭和59年一般会計予算

- (a) 収入の部 } 次の如し
 (b) 支出の部 }

1) 収入の部

科 目	59年度予算額	58年度予算額	増 減	摘要
繰 越 金	1,000	1,000		
会 費	2,520,000	2,490,000	(+) 30,000	A会員 5万円×34人=170万円 B会員 3万円×27人= 81万円 外 1万円×1人= 1万円
補 助 金	90,000	90,000		学校保健 6万円 地域保健 3万円
繰 入 金		200,000	(-) 200,000	
雑 収 入	3,000	3,000		利息
合 計	2,614,000	2,784,000	(-) 170,000	

2) 支 出 の 部

科 目	59年度予算額	58年度予算額	増 減	摘要
会 議 費	700,000	700,000		総会 15万円×2回 役員会 10万円×2回 部会費 5万円×4
事 務 費	680,000	660,000	(+) 20,000	副会長支部長通信費 3万円×6人= 役員行動費 2万円×16人= 通信費 6万円 消耗品費 6万円 印刷費 6万円
広報発行費	545,000	730,000	(-) 185,000	編集費 2万円×6回 印刷費 6万円×6回 発送費 1万円×6回 雜費 5千円
旅 費	500,000	500,000		役職員旅費
交 際 費	100,000	100,000		
慶弔費	30,000	30,000		
予 備 費	59,000	64,000	(-) 5,000	
合 計	2,614,000	2,784,000	(-) 170,000	

III 休祭日当番医補助金予算

(a) 収入の部 } 次の如し
 (b) 支出の部 }

1) 収 入 の 部

単位：円

科 目	59年度予算額	58年度予算額	摘要	要
繰 越 金	1,000	475,643		
補 助 金	3,300,000	3,307,800		
雑 収 入	10,000	10,000		
合 計	3,311,000	3,793,443		

2) 支 出 の 部

科 目	59年度予算額	58年度予算額	摘要	要
報 償 費	2,386,000	1,355,000	各支部 10万円×3 = 30万円 健康教育費 6千円×66 = 396千円 救急対策費 30万円 野 球 40万円 ゴ ル フ 5万円 海 釣 り 4万円 校医と養教懇談会 30万円 合同研修費 60万円	
需 用 費	350,000	264,000	会議費 10万円×3 = 30万円 消耗品、通信費 5万円	
旅 費	210,000	210,000	役職員旅費	
役 務 費	54,000	54,000	三支部 8千円×3 = 24千円 送料 3万円	
総 会 費		1,902,135		
予 備 費	331,000	8,308		
合 計	3,311,000	3,793,443		

4. 役員選挙

次の通り選出せらる。

記

会長 上野 精三

副会長 土谷 邦彦

" 近藤 純造

" 宮杜 亨

理事 坂井 博毅

" 早藤 一雄

" 及川 忠人

" 嶋 信

" 秋浜 晃

" 高橋 牧之介

" 佐藤 郁郎

" 上田 靖彦

" 高橋 孝

監事 八角 正司

" 高橋 司 西島康之

" 伊藤 祯二

県医代議員 土谷 邦彦

" 秋浜 晃

県医予備代議員 根本 忠夫

" 佐々木 久夫

5. 県医師会関係の選挙

(当医師会関係の部)

県医理事 宮杜 亨

県医裁定委員 近藤 純造

上記の通り当選す。

(イ) 2月21日

玉山村中央公民館に於て新点数説明会を開催す

講師 保険担当理事 高橋牧之介先生

(二) 2月22日

岩手県民健康講座葛巻会場、閉講式を行なう。

閉講式に当り第一支部会員各位の御努力と葛巻町長高橋吟太郎殿外同町役場職員の御援

助に対し深く感謝の意を表する次第です。

尚、終了後同町博寿しに於て講師各位並びに関係一同集合の上反省会を開催し、翌年度玉山会場のための準備に供う。

(イ) 2月23、24、29日の3日間に亘り、当医師会管内8医療機関に於て社会保険、国民健康保険並びに生活保護指定医療機関の個別指導行なわる。

指導の内容の細部に関しては5月19日当医師会主催の医学講演会に於て各講師の先生方より微に入り細に亘り説明せらる。

(ヘ) 2月25日

ホテルニューカリーナに於て当医師会主催津村順天堂後援の漢方薬の講演会を実施す。

参加人員 12名

(ト) 3月10日 昭和58年度在宅当番医制事業委託料の請求書提出す

(チ) 4月16日 玉山村中央公民館に於て各町村と昭和59年度の予防接種の契約を行なう。

(リ) 4月12日 盛岡市東日本ホテルに於て役員会を開催し下記の協議を行なう。

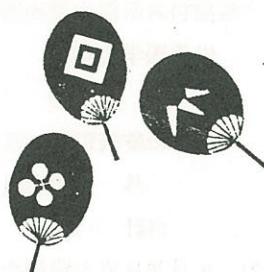
全役員中欠席 2名のみ

記

(a) 講演会開催について

(b) 2月下旬に行なわれた個別指導と将来の対策について

(c) 施設収容者の診療について



8 入退会者について

1. 退会者

(イ) 英 菊 鐘 顯

東八幡平病院より八戸に

(2月21日付)

(ロ) 武 内 健 一

滝沢中央病院より岩手医大に

(3月31日付)

(ハ) 斎 藤 文 子

小岩井診療所より岩手医大に

(3月31日付)

(二) 張 簡 俊 二

土谷病院より岩手医大に

(3月31日付)

2. 入会者

(イ) 九良賀野 満雄

県立久慈病院より渋民中央病院に

(ロ) 土 谷 正 彦

独協医大より土谷病院に

(ハ) 宮 一 路

岩手医大より滝沢中央病院に

(二) 矢 追 博 美

県立中央病院より滝沢村に開業

9 その他の

- (1) 来る6月24日紫波郡医師会担当に於て開催の本年度県医総会並びに岩手医学会(春季)総会には下記の通り出席の予定なり

記

県医理事 宮 杜 亨

県医代議員 土 谷 邦 彦

" 秋 浜 晃

岩手医学会議員 上 田 靖 彦

代理 佐 藤 郁 郎

当日の被表彰者 工 藤 刚 嗣

外 一般会員 13名

合計 19名

- (2) 8月26日宮古医師会担当にて宮古市に於

て開催予定の岩手県医師会親睦野球大会には近藤総監督、秋浜監督、高橋(牧)マネージャーの3人にてチームを編成の上、勇躍参加の上、必勝を期しあり。

尚、本年度はユニホームを新調の上8月25日午後出発宮古市に宿泊し、前夜祭を行い必勝を期す。前夜祭は翌日の試合に支障を来たさざる様選手一同誓いあり。

(3) 古きユニホームの処理

昭和42年8月岩手郡医師会が始めて県医師会親睦野球大会を零石町にて開催を担当した際新調したるものにて既に18年を経過し、古着同然となり3年前より選手諸君より新調の希望強く、本年度323,900円を投じ新調せり。

古いユニホームは現在12着あり、3着は紛失せるも2~3年前大会参加の若い先生が着用して、まもなく転任しそのまま携行して新しい職場で活用しあるものと思料す。この古いユニホームは、当初郡内僻地の中学校野球部に寄贈することを考慮したるも丈上の関係あるため、郡内葛巻高校に寄贈することに過般の役員会に於て決定す。

尚、6月30日送る予定

岩手県医師信用組合理事会

日時 58年12月21日 午後2時30分

場所 岩手県医師会館 第一議会室

協議

1. 業況並びに開拓訪問状況の検討
2. 岩手県業務検査の結果、預金貸出業務の伸長促進方指導に対する対応を検討し、預金高30億早期到着路線を確認すると共に、業容拡大運動の一層の促進と来月より貸出金利の0.3%引下げを決定。
3. 国債利金複利口座の取扱い。
4. 各医師会行事へ信組杯を贈り信組の認識の高揚を図る等を決定した。

岩手県医師信用組合理事会

日時 59年5月2日 午後2時30分

場所 岩手県医師会館 第一議会室

協議

1. 決算関係書類の作成備付
2. 第14期事業計画、総代会の招集
3. 業容拡大運動推進方策、事務委託費200万円に増額
4. 役職員の開拓活動とこれに必要な増員等を決定した。

岩手県医師信用組合総代会

日時 59年5月19日 午後2時30分

場所 岩手県医師会館 三階中会議室

議案 総代会開催に当たり報告のため出席

1. 決算の承認 原案通り承認
2. 新年度事業計画、年度末預金高25億必成等決定した。
3. 役員全員任期満了により前任者全員再選された。

尚、県医事紛争対策委員石川育成氏より賠償資金立替金の貸付について信組へ要望が

あった。(秋浜)

本年度第一回労災部会幹事会報告

上記会が、6月1日県医師会館で開かれたので、その要点を略記します。

1. 部会長、副部会長選任の件
部会長 中村和好先生(釜石)再任
副部会長 3名、病院、診療所、県医理事より夫々一名宛 新再任
2. 労災保険診療報酬請求書審査に関する問題について
3. その他

以上を、金野担当理事、岩手労基局大坪課長より説明あり、夫々討議し略述すると、理事から、当部会活動は、今迄日医の活動の鈍かった事もあり、本年度は、日医の活動も期待できるので、今後当部会も同様の活動を期して居る。

労基局としては、労災医療は一般健保と治療方針は少しく異なり、患者を早期に就業可能にする事であり、且、可及的に新薬使用等で、高医療費にならない様に配慮願いたい事。

労災保険診療費請求の審査は、原則的には一方的行政処分であるが、減点が理解困難であれば、労基局に申出あれば、目下の所再審が可能である事。

支払いの遅れる原因は、大部分が第一回請求の場合、事業所所在地の労基局宛に、第二回からは、事業所番号記入の上、診療機関所在地管轄の労基局に請求していただければ、順調な支払いが可能である。

診療点数は、1点11円50銭であるが、初診料、その他の特約料金を確認して請求すること。請求モレの特約料金は、支払わない事。以上です。

又、今後の部会活動の資料としたいので、

次回迄に各医師会毎に、指定医療機関の希望、意見をまとめてることになっており、近日中にアンケートをお願いする予定で居ります。

早 藤 記

会員各位にお願い

岩手県医師会、岩手医学会並びに郡医師会に於て毎年医学講演会、社会保険指導者講習会、厚生省主催の講習会の伝達講習会等が行なわれて居ります。県医師会は毎回会員の1/2宛参加するよう内規で定められて居ります。当郡医師会に於ては会員数に応じ各支部長に参加者を割り当てております。支部長各位は参加者の定数を充足するに大変苦労されております。最後は毎回同じ出席となります。会員の皆さん下記を熟読の上、御参加下さる様お願いいたします。

記

1. 医師会という組織の一員であることを自覚せられ度。但、職業の関係上当日になって出席不能となることはありましょうが。
 2. 一回も出席しない会員があります。但、老齢病弱の方は別ですが、若い人で全く不参加は残念です。
 3. 每回出席の連絡をして下さるも、毎回欠席会員もあります。
- 以上、支部長の苦労を考慮されて以後かかることなきようお願い致し度く。

会 長

編集後記

○ 健康保険法改正法案は、今国会の最重要法案といわれてきたが、編集子は当医師会にとっても実に重要な問題であるので、その成り行きに気をとられ、会報の編集が遅れたことをお詫びする。

○ 本会報には、恒例のとおり会長よりの詳細な行事報告、及び、労災部会幹事会報告、県医師信用組合理事会報告、同総代会報告、というように報告のみを掲載することにした。

○ 会長の行事報告にあるように、県医師会の役員は改選されたが、当郡医師会の役員も改選された。

新役員各位には、当面の医療問題多事多難の時とて、ご苦労多きことと思うが、問題解決についてのご尽力をお願いする。

○ 8月26日宮古市において、県医師会親睦野球大会が開催され、当郡医師会からも選手が出場する。選手各位のご健闘を祈る。

○ 本会報の表紙を飾る水芭蕉の写真は、嶋信先生撮影のものである。会報に花を添えて下さったことを感謝する。

(M・T)